

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

こんな常金丸小教職員の姿を目指します。

○子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます。

使命 私たちは、子どもを守り育てます。

遵法 私たちは、法令を遵守します。

公正 私たちは、不祥事を許しません。

公開 私たちは、地域に開かれた学校にします。



○時を守り、場を清め、礼を正し子どもの範となります。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立 常金丸小 学校
作成責任者 校長 迫田 靖恵

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<p>○凡時徹底を教職員が率先垂範できていないところがある。</p> <p>○不祥事に対する危機感が弱くなることがある。</p>	<p>○月ごとの課題を明確にした職場行動目標を設定する。</p> <p>○教育公務員としての自覚と不祥事根絶に向けた決意を強める。</p>	<p>○月ごとの課題を明確にした不祥事防止目標を設定し、チェックリストにより内省する場をもつ。</p> <p>○参加型や担当を決めた研修をし、自身を振り返り、課題を自覚する場をもつ。</p> <p>○本校の行動基準を暮会で読み合わせる。</p>	<p>○毎月末、「服務規律の自己点検表」実施し、結果を改善に生かす。</p> <p>○研修後に感想を交流する。</p> <p>○毎週木曜日の暮会で行動基準を読み合わせる。</p>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<p>○業務に追われてしまうとゆとりがなくなったり、一人で悩みを抱え込んだりすることがある。</p> <p>○退校時刻が遅くなりがちで疲れをためることが多い。</p> <p>○課題を抱える児童・保護者への対応が不十分になり、不安や不満を持たれる場合がある。</p>	<p>○組織の見直しと教育活動の重点化を図り、業務の効率化を行う。</p> <p>○業務改善案に沿った業務を実施する。</p> <p>○「報告・連絡・相談」を細やかにを行い、複数、組織としての対応を行う。</p>	<p>○会議計画や行事等事前の「すべきリスト」を作り、計画的に打ち合わせをする。</p> <p>○机上整理や個人情報管理、毎日の業務のルーチン化を徹底する。</p> <p>○定時退庁日、健康退庁日を確実に実施する。</p> <p>○問題の早期発見・早期解決に向けて、問題が起ったら、即行動する意識を持つ。</p>	<p>○毎週木曜日を机上整理の日、一斉研修日を定時退庁日、毎週水曜日を健康退庁日に設定する。</p> <p>○保護者連絡や児童対応は他の業務に優先して即行動する。</p>
相談体制の充実	<p>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の役割や機能が十分周知されていない。</p> <p>○教職員の互いの行動が見えにくく、悩み等を相談、助言ができにくいことがある。</p>	<p>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」は気軽に利用できるものであるという周知をする。</p> <p>○組織での役割分担を確認し、行事等での打合せや反省、評価等を確実に行う。</p>	<p>○学期に1回は相談窓口や相談日について具体的な事例をあげて児童や保護者に説明する。</p> <p>○部会内の業務の進捗状況を確認し、相談したり、サポートできたりする時間をつくる。</p>	<p>○学期1回相談窓口周知状況を不祥事防止委員会で把握する。</p> <p>○企画委員会で部会内での状況を把握する。</p>